

つがる市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

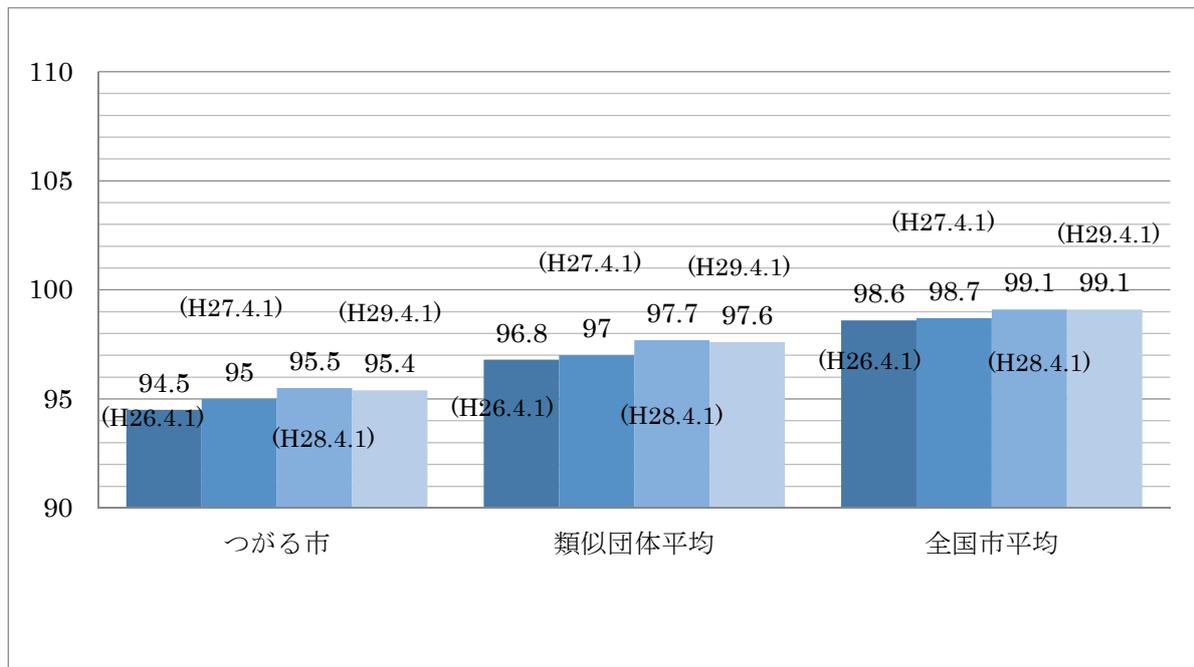
| 区分 | 住民基本台帳人口 (29年1月1日) | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 27年度の人件費率 |
|------|-----------------------|------------------|---------------|-----------------|-------------|-------------------|
| 28年度 | 人 33,833 | 千円 25,915,619 | 千円 549,444 | 千円 3,590,600 | % 13.8 | % 16.4 |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区分 | 職員数 A | 給与費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A | (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|------|----------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|------------------|------------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | | |
| 28年度 | 人 407 | 千円 1,615,870 | 千円 232,151 | 千円 593,199 | 千円 2,441,220 | 千円 5,998 | 千円 — |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
 2 職員数は、平成 28 年 4 月 1 日現在の人数です。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を 100 として計算した指数です。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。
 3 平成 25 年は、国家公務員の時限的な給与改定・臨時特例法による給与減額措置が無いとした場合の値です。

(4) 給与改定の状況

つがる市では人事委員会を設置していないため、省略します。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容)

一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。若年層については、改定なし。高齢層については最大4%引下げ。激変緩和のため、4年間(平成31年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

② 地域手当の見直し

(地域手当の制度なし)

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

(6) 特記事項

- ・平成24年4月1日から病院事業が、広域連合に移管しました。
- ・職員の給与及び特別職の給料は平成25年7月1日から平成26年3月31日まで、国の要請等を踏まえ減額しています。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成29年4月1日現在)

① 一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| つがる市 | 46.5 歳 | 335,611 円 | 365,502 円 | 359,739 円 |
| 青森県 | 43.1 歳 | 321,600 円 | 386,578 円 | 352,175 円 |
| 国 | 43.6 歳 | 330,531 円 | — | 410,719 円 |
| 類似団体 | 42.4 歳 | 316,753 円 | 366,514 円 | 340,895 円 |

②技能労務職

| 区 分 | 公 務 員 | | | | | 民 間 | | | 参 考 |
|----------|-------|--------|----------|-----------|--------------|-------------|-------|-----------|------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額(A) | 平均給与月額(国ベース) | 対応する民間の類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額(B) | A/B |
| つがる市 | 54.6歳 | 24人 | 347,729円 | 364,908円 | 363,783円 | — | — | — | — |
| うち学校給食 | 54.8歳 | 11人 | 348,327円 | 365,391円 | 365,391円 | 調理士 | 44.3歳 | 184,000円 | 1.99 |
| うち用務員 | 54.4歳 | 9人 | 351,456円 | 364,900円 | 364,900円 | 用務員 | 55.1歳 | 207,300円 | 1.76 |
| うち自動車運転手 | 54.6歳 | 4人 | 337,700円 | 363,600円 | 356,850円 | 自動車運転手 | 46.0歳 | 184,800円 | 1.97 |
| うちその他 | 歳 | 1人 | 円 | 円 | 円 | — | — | — | — |
| 青森県 | 50.0歳 | 339人 | 303,200円 | 337,024円 | 322,437円 | — | — | — | — |
| 国 | 50.6歳 | 2,722人 | 286,833円 | — | 328,360円 | — | — | — | — |
| 類似団体 | 50.7歳 | 17人 | 306,316円 | 328,137円 | 318,630円 | — | — | — | — |

| 区 分 | 参 考 | | |
|----------|---------------|------------|------|
| | 年収ベース（試算値）の比較 | | |
| | 公務員(C) | 民間(D) | C/D |
| つがる市 | — | — | — |
| うち学校給食 | 5,746,314円 | 2,516,800円 | 2.20 |
| うち用務員 | 5,812,311円 | 2,818,600円 | 2.06 |
| うち自動車運転手 | 5,589,354円 | 2,577,200円 | 2.17 |

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。（平成26～28年の3カ年平均）。

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③消防職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 |
|------|--------|-----------|-----------|
| つがる市 | 39.2 歳 | 289,235 円 | 347,386 円 |
| 青森県 | — 歳 | — 円 | — 円 |
| 類似団体 | 36.0 歳 | 278,907 円 | 340,606 円 |

(注) 1 「平均給料月額」は、平成29年4月1日現在における各職種の職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」は、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出したものです。

(2) 職員の初任給の状況（平成 29 年 4 月 1 日現在）

| 区 分 | | つ が る 市 | 青 森 県 | 国 |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 178,200 円 | 178,200 円 | 178,200 円 |
| | 高 校 卒 | 146,100 円 | 146,100 円 | 146,100 円 |
| 技能労務職 | 高 校 卒 | 143,500 円 | 143,500 円 | — |
| | 中 学 卒 | 135,500 円 | 135,500 円 | — |
| 消 防 職 | 大 学 卒 | 171,600 円 | — 円 | — |
| | 高 校 卒 | 150,700 円 | — 円 | — |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成 29 年 4 月 1 日現在）

| 区 分 | | 経験年数 10～15年 | 経験年数 15～20年 | 経験年数 20～25年 | 経験年数 25～30年 |
|-------|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 260,500 円 | 300,900 円 | 348,300 円 | 375,700 円 |
| | 高 校 卒 | — 円 | 266,500 円 | 297,900 円 | 363,700 円 |
| 技能労務職 | 高 校 卒 | — 円 | — 円 | 308,300 円 | 339,000 円 |
| | 中 学 卒 | — 円 | — 円 | — 円 | — 円 |

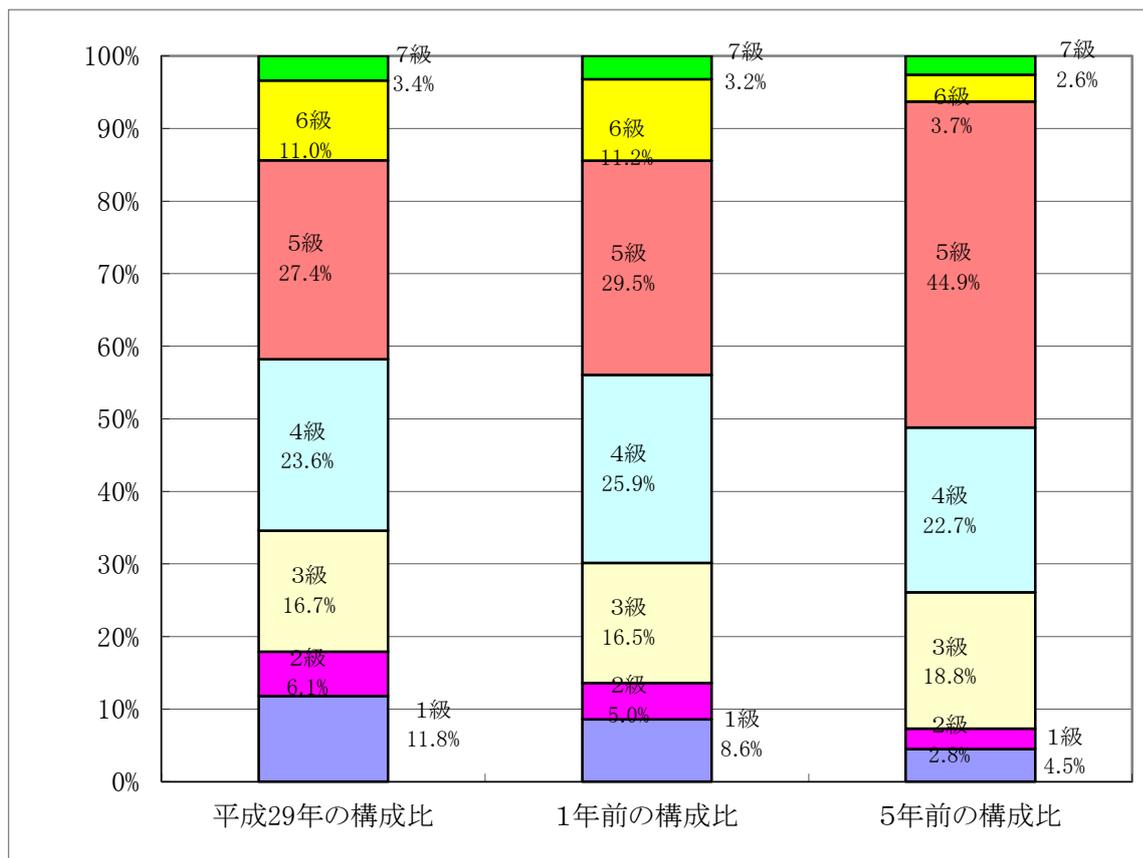
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成29年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数(人) | 構成比(%) | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|-----------|--------|--------|----------|-----------|
| 7級 | 部長、理事 | 9 | 3.4 | 361,800円 | 444,100円 |
| 6級 | 課長、参事 | 29 | 11.0 | 317,700円 | 409,400円 |
| 5級 | 所長、副参事 | 72 | 27.4 | 287,100円 | 392,200円 |
| 4級 | 課長補佐、総括主幹 | 62 | 23.6 | 261,100円 | 383,400円 |
| 3級 | 係長、主幹 | 44 | 16.7 | 227,900円 | 349,200円 |
| 2級 | 主査 | 16 | 6.1 | 191,700円 | 303,400円 |
| 1級 | 主事 | 31 | 11.8 | 141,600円 | 246,600円 |

(注) 1 つがる市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への人事評価の活用状況（つがる市）

| 平成 29 年 4 月 2 日から平成 30 年 4 月 1 日 までにおける運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|--|----------------|---------------|-------------|---------------|
| | イ. 人事評価を活用している | | | |
| 活用している昇給区分 | 昇給可能な 区分 | 昇給実績が ある区分 | 昇給可能な 区分 | 昇給実績が ある区分 |
| 上位、標準、下位の区分 | | | | |
| 上位、標準の区分 | | | | |
| 標準、下位の区分 | | | | |
| 標準の区分のみ（一律） | | | | |
| ㊦. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | 平成 31 年 1 月 | | 平成 31 年 1 月 | |

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| つがる市 | 青森県 | 国 |
|--|--|--|
| 1人当たり平均支給額（28年度） 1,465 千円 | 1人当たり平均支給額（28年度） 1,564 千円 | — |
| （28年度支給割合） 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 1.55 月分 （1.4）月分 （0.75）月分 | （28年度支給割合） 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 1.55 月分 （1.40）月分 （0.75）月分 | （28年度支給割合） 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 （1.45）月分 （0.85）月分 |
| （加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15% | （加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% | （加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

○ 勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（つがる市）

| 平成 29 年度中における運用 | | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|--|--------------|----------------|--------------|----------------|
| イ. 人事評価を活用している | | | | | |
| 活用している成績率 | | 支給可能な 成績率 | 支給実績が ある成績率 | 支給可能な 成績率 | 支給実績が ある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率 | | | | | |
| 上位、標準の成績率 | | | | | |
| 標準、下位の成績率 | | | | | |
| 標準の成績率のみ（一律） | | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | | |
| 活用予定時期 | | 平成 30 年 6 月 | | 平成 30 年 6 月 | |

(2) 退職手当（平成 29 年 4 月 1 日現在）

| つ が る 市 | | | 国 | | |
|--|--|--|--|--|--|
| ・基本額 （支給率） 自己都合 勸奨・定年 勤続 20 年 20.445 月分 25.55625 月分 勤続 25 年 29.145 月分 34.5825 月分 勤続 35 年 41.325 月分 49.59 月分 最高限度額 49.59 月分 49.59 月分 | | | ・基本額 （支給率） 自己都合 応募認定・定年 勤続 20 年 20.445 月分 25.55625 月分 勤続 25 年 29.145 月分 34.5825 月分 勤続 35 年 41.325 月分 49.59 月分 最高限度額 49.59 月分 49.59 月分 | | |
| ・調整額 職員の在職の区分に応じて定める額の60月分の調整月額を合計した額(月額0～54,150円) | | | ・調整額 職員の在職の区分に応じて定める額の60月分の調整月額を合計した額(月額0～95,400円) | | |
| その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～45%加算） （退職時特別昇給 なし） | | | その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（3～45%加算） | | |
| 1人当たり平均支給額 自己都合 4,165千円 勸奨・定年 21,692千円 | | | | | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当（制度なし）

| | | | |
|-------------------------|-----|---------|-----------|
| 支給実績（28年度決算） | | — 千円 | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額（28年度決算） | | — 円 | |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 国の制度（支給率） |
| — | — % | — 人 | — % |

(4) 特殊勤務手当（平成 29 年 4 月 1 日現在）

| 支給実績（28年度決算） | | 1,307 千円 | | |
|---------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------|--|
| 支給職員 1 人当たり平均支給年額（28年度決算） | | 12,814 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（28年度） | | 23.2 % | | |
| 手当の種類（手当数） | | 8 種類 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 （28年度 決算） | 左記職員に対する支給単価 |
| 感染症防疫作業手当 | 感染症防疫作業に従事する職員 | 防疫作業 | - 千円 | 290 円/日 |
| 用地買収交渉手当 | 用地の取得交渉、物件移転に係る補償交渉等の業務に従事した職員 | 用地の取得交渉、物件移転に係る補償交渉等の業務 | - 千円 | 180 円/日（深夜の場合、当該額に 100 分の 50 を加算） |
| 徴収手当 | 徴収に従事する職員 | 徴収業務 | 135 千円 | 3,000～2,000 円/月 300 円/日 |
| 行旅死亡人及び変死人死体取扱手当 | 行旅死亡人及び変死人の死体取扱業務に従事した職員 | 行旅死亡人及び変死人の死体取扱業務 | - 千円 | 3,000 円/1件 |
| 福祉手当 | 生活相談員又は技能主事（支援員） | 福祉業務 | - 千円 | 生活相談員又は主任技能主事 8,700 円/月 技能主事 6,700 円/月 |
| 福祉業務現業手当 | 福祉事務所（保護課）の査察指導員及び保護係の職員 | 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）に関する業務 | 600 千円 | 5,000 円/月 |
| 救急出動業務手当 | 救急出動した職員 | 救急出動の現場業務 救急救命士の資格に係る処置等を行った場合 | 572 千円 | 150 円/回 300 円/回（救急救命） |
| 潜水業務手当 | 潜水士の資格を有する職員 | 水中における救助活動の業務 | - 千円 | 救助活動の業務 500 円 救助活動の訓練業務 200 円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|-------------------------|-----------|
| 支給実績（28年度決算） | 38,610 千円 |
| 職員 1 人当たり平均支給年額（28年度決算） | 87,950 円 |
| 支給実績（27年度決算） | 37,165 千円 |
| 職員 1 人当たり平均支給年額（27年度決算） | 108,037 円 |

(6) その他の手当 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

| 手 当 名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (28年度決算) | 支給職員1人当たり平均支給年額 (28年度決算) |
|------------|--|----------|--------------------------------------|------------------|-----------------------------|
| 扶養手当 | ・ 配偶者 10,000円 | 同 | | 66,409 千円 | 228,209 円 |
| | 子 ・ 配偶者有 (扶養手当無) の1人目 8,000円 ・ 配偶者無の1人目 10,000円 ・ 2人目以降 8,000円 ※満16~22歳までの子1人につき5,000円加算 | | | | |
| | 子以外 ・ 配偶者有 (扶養手当無) の1人目 6,500円 ・ 配偶者無の1人目 9,000円 ・ 2人目以降 6,500円 | | | | |
| 住居手当 | ・ 借家、借間 限度額 27,000円 | 同 | | 18,117 千円 | 262,571 円 |
| 通勤手当 | ・ バス等交通機関利用者 限度額 55,000円 ・ 片道2km以上で自動車等交通用具利用者 2,000円~46,000円 | 異 | 四輪の自動車 支給区分 2km毎限度額 46,000円 | 23,189 千円 | 64,772 円 |
| 管理職手当 | ・ 管理又は監督の地位にある職員 部長 25,000円~ 所長 10,000円 | 同 | | 19,780 千円 | 347,018 円 |
| 管理職員特別勤務手当 | ・ 管理又は監督の地位にある職員が週休日、休日等に勤務したとき 4,000円~6,000円 | 同 | | 0 千円 | 0 円 |
| 休日勤務手当 | ・ 休日等に勤務する職員 単価×135/100 (1時間当たり) | 同 | | 33,313 千円 | 358,203 円 |
| 夜間勤務手当 | ・ 正規の勤務時間として午後10時から翌日午前5時まで勤務する職員 単価×25/100 (1時間当たり) | 同 | | 9,755 千円 | 106,033 円 |
| 寒冷地手当 | ・ 市内その他寒冷の地域に在勤する職員 7,360~17,800円 | 同 | | 31,200 千円 | 71,396 円 |
| 単身赴任手当 | ・ 公署を異にする異動等により単身赴任となる職員 限度額 70,000円 | 同 | | 360 千円 | 360,000 円 |

5 特別職の報酬等の状況（平成29年4月1日現在）

| 区 分 | | 給 料 月 額 等 | | |
|------------------|-------|--------------------|------------------------------|--------|
| 給 料 | 市 長 | 820,000円 | (参考)平成28年度 類似団体における最高／最低額 | |
| | 副 市 長 | 650,000円 | 1,010,000 円／ 460,000 円 | |
| 報 酬 | 議 長 | 380,000 円 | 500,000 円／ 304,000 円 | |
| | 副 議 長 | 350,000 円 | 450,000 円／ 264,000 円 | |
| | 議 員 | 320,000 円 | 420,000 円／ 249,000 円 | |
| 期 末 手 当 | 市 長 | (28年度支給割合) | | |
| | 副 市 長 | 3.05 月分 | | |
| 退 職 手 当 | 議 長 | (28年度支給割合) | | |
| | 副 議 長 | 3.05 月分 | | |
| 退 職 手 当 | 市 長 | (算定方式) | (1期の手当額) | (支給時期) |
| | 副 市 長 | 給料月額×在職月数×45.5/100 | 17,908,800円 | 任期毎 |
| | 備 考 | 給料月額×在職月数×26.5/100 | 8,268,000円 | 任期毎 |
| 備 考 | | | | |

(注) 1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

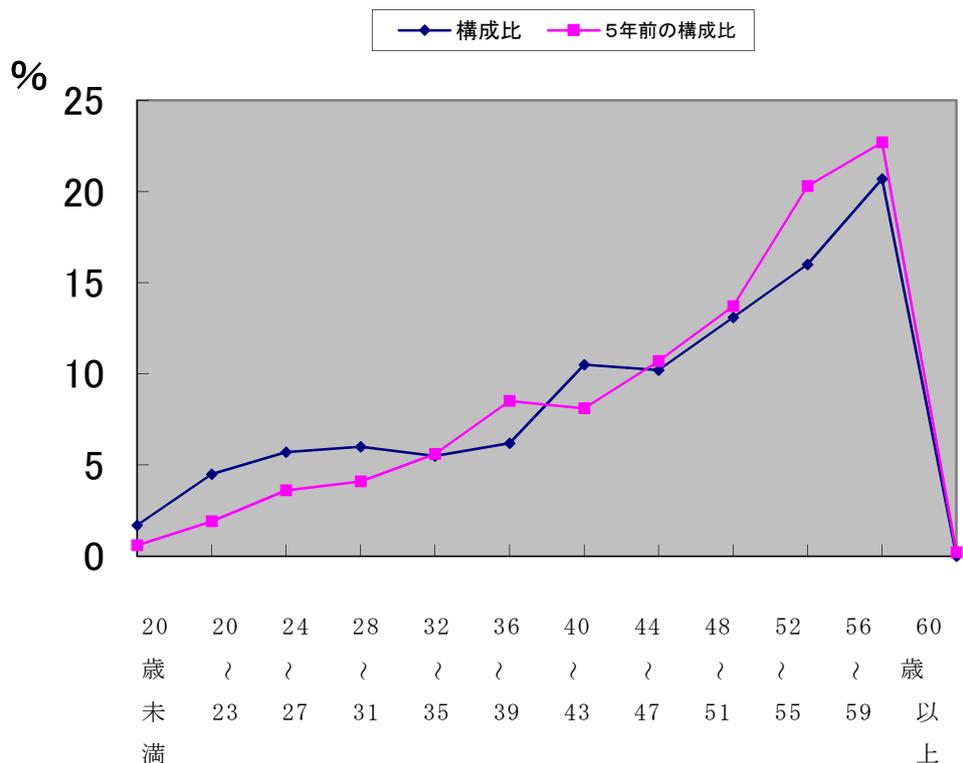
(各年4月1日現在)

| 部 門 | | 区 分 | 職 員 数 | | 対 前 年 増 減 数 | 主 な 増 減 理 由 |
|---------------------------------|----------------------------|---------|---------|-------|----------------|-------------|
| | | | 平成28年 | 平成29年 | | |
| 普 通 会 計 部 門 | 一 般 行 政 部 門 | 議 会 | 5 | 5 | - | |
| | | 総 務 | 82 | 82 | - | |
| | | 税 務 | 28 | 27 | △ 1 | 業務見直し |
| | | 民 生 | 50 | 47 | △ 3 | 業務見直し |
| | | 衛 生 | 20 | 18 | △ 2 | 業務見直し |
| | | 労 働 | 2 | 2 | - | |
| | | 農 林 水 産 | 31 | 30 | △ 1 | 業務見直し |
| | | 商 工 | 5 | 5 | - | |
| | 土 木 | 17 | 15 | △ 2 | 業務見直し | |
| | | 計 | 240 | 231 | △ 9 | |
| | 教育部門 | 54 | 47 | △ 7 | 業務見直し、一部民間委託 | |
| | 消防部門 | 113 | 111 | △ 2 | 退職不補充 | |
| | 小 計 | 407 | 389 | △ 18 | | |
| 公 営 企 業 等 部 門 | 下 水 道 | 7 | 7 | - | | |
| | そ の 他 | 26 | 24 | △ 2 | 業務見直し | |
| | 小 計 | 33 | 31 | △ 2 | | |
| 合 計 | | 440 | 420 | △ 20 | | |
| | | [582] | [582] | [-] | | |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成 29 年 4 月 1 日現在）



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 7人 | 19人 | 24人 | 25人 | 23人 | 26人 | 44人 | 43人 | 55人 | 67人 | 87人 | —人 | 420人 |

(3) 職員数の推移

(単位：人)

| 区分 部門別 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 過去5年間の 増減数(率) |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------------|
| 一般行政 | 305 | 285 | 269 | 258 | 240 | 231 | △74(△24.3%) |
| 教育 | 71 | 66 | 66 | 61 | 54 | 47 | △24(△33.8%) |
| 消防 | 119 | 121 | 118 | 114 | 113 | 111 | △8(△6.7%) |
| (普通会計 計) | 495 | 472 | 453 | 433 | 407 | 389 | △106(△21.4%) |
| 公営企業等会計 | 38 | 38 | 33 | 34 | 33 | 33 | △5(△13.2%) |
| 合計 | 533 | 510 | 486 | 467 | 440 | 420 | △113(△21.2%) |

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数です。